

教育課程

- ・本学の教育目的, 特徴
- ・講義形態(大学と高校との相違点)
- ・単位制
- ・科目の構成
- ・卒業・進級に必要な単位
- ・試験・成績
- ・学科所属
- ・研究指導

1

教育課程(カリキュラム)

○卒業・進級に必要な単位について説明します。

卒業に必要な単位 (履修の手引き7頁～)

- 124単位
- 共通科目から52単位
- 学科科目から72単位

※学則 別表第2

2

卒業に必要な単位

○皆さんが、卒業するために修得しなければならない卒業所要単位数は、全部で124単位となっています。

○その修得する単位の内訳は、大きく分けて共通科目から52単位、学科科目から72単位以上修得することが必要となっています。

○毎年、2単位や4単位が不足して、卒業できない学生がいます。余裕をもって履修計画を立てるようにしてください。

卒業に必要な単位 1

共通科目および日本語科目

区分		単位数	備考
共通科目	基礎科目	知(地)の基礎	6単位以上
		人間と文化	4単位以上
		社会と人間	4単位以上
		自然と環境	4単位以上
		健康科学	2単位以上
外国語科目		14単位以上	
日本語科目		(12単位)	
自由選択		12単位	
計		52単位	

3

○では、具体的に見ていきましょう。

【共通科目の単位修得について】

- まずは、基礎科目について説明します。
- それぞれの区分に単位数が記載されています。

○「知(地)の基礎」は、

高校と大学の橋渡し(接続教育)と地域の理解を含めることを目的としています。6単位以上修得しなければなりません。基礎科目の他の系列よりも多い単位数を修得しなければなりませんので、できるだけ1年次に履修するようにしてください。すべて2単位科目ですので、3科目修得する必要があります。なお、グローバルコースの学生は、4科目8単位以上修得する必要があります。

○次に基礎ゼミナールについて説明します。

- この基礎ゼミナールは、学生が早くから大学生活に馴染み、学問に対する意欲を持つことが出来るよう自主性、積極性を育成する目的で開設されているものです。
- グローバルコースの学生は英語で開講される基礎ゼミナールを履修しなければなりません。
- 単位を修得すれば、共通科目「知(地)の基礎」の卒業所要単位に算入されます。

○「人間と文化」は4単位以上修得してください。

○「社会と人間」は4単位以上修得してください。

○「自然と環境」は4単位以上修得してください。

すべて2単位科目ですので、各区分から2科目以上修得する必要があります。

○「健康科学」は2単位以上修得してください。

健康スポーツは1単位科目です。

○基礎科目の「知(地)の基礎」を除く、これら4つの区分から必要な最低限の単位を修得した場合、合計で14単位となりますが、それでは足りません。

あと6単位加えて、最低20単位を修得しなければなりません。この6単位をこれら4つの区分のどこから何単位取るかは自由です。

○グローバルコースの学生は、「知(地)の基礎」が8単位以上、必要となりますが、「自由選択」の必要単位は10単位となり、他の学生と同様に計52単位の修得が必要となります。

卒業に必要な単位(英語専修を除く) 2

学科科目

区分	単位数	備考
自学科基幹科目	12単位	商学科英語専修の科目を除く。
自学科発展科目	28単位	商学科英語専修の科目を除く。自学科基幹科目の単位数欄に掲げる単位数を超える単位を含めることができる。
自他学科科目 専門共通科目 学科自由科目	20単位	1. 自学科基幹科目及び自学科発展科目の単位数欄に掲げる単位数を超える単位を含めることができる。 2. 商学科英語専修科目及び学科自由科目は以下の科目を卒業所要単位に含めることができる。 ・経済学入門Ⅰ ・経済学入門Ⅱ ・国際経済学 ・英語コミュニケーションⅠ ・英語コミュニケーションⅡ ・比較文化Ⅰ ・比較文化Ⅱ ・法学 ・国際法 ・英語上級Ⅰ ・英語上級Ⅱ ・英語上級Ⅲ ・英語上級Ⅳ ・ビジネス英語Ⅰ ・ビジネス英語Ⅱ ・英語学特講Ⅰ ・英語学特講Ⅱ ・英文学特講Ⅰ ・英文学特講Ⅱ
研究指導	12単位	3年以上4年未満の在学で卒業する場合は、6単位を学科発展科目に認定する。
計	72単位	

4

○次に学科科目について説明します。

経済学科、商学科(英語専修を除く)、企業法学科、社会情報学科共通です。

表にありますように、卒業には、

- ・自学科の授業科目のうち自学科基幹科目から12単位、
- ・自学科発展科目から28単位の修得が必要です。

自学科発展科目の28単位には、自学科基幹科目12単位を超える単位を含めることができますが、

その逆で、自学科発展科目を多くとって、その分を自学科基幹科目にまわすということとはできませんので、注意してください。

○その他に、自他学科科目と専門共通科目と学科自由科目から併せて20単位以上の修得が必要となります。

○教職共通科目は卒業所要単位に含まれません。

なお、教職関連科目である「学科自由科目」は、一部の科目を卒業所要単位に含めることができることになっています。この点注意願います。

○研究指導は原則として必修です。3年次と4年次を通算して12単位が付与されます。卒業論文を提出する必要があります。

○例外的措置としてノンゼミを認められた場合、自学科の学科科目のうちから12単位を履修しなければなりません。

○共通科目と学科科目間での単位の流用はできません。

卒業に必要な単位(英語専修) 3

学科科目

区分	単位数	備考
自学科基幹科目	12単位	英語専修基幹科目から12単位
自学科発展科目	28単位	英語学概論Ⅲ及び英作文Ⅰを含め英語専修発展科目から28単位
自他学科科目 専門共通科目 学科自由科目	20単位	1. 英語専修の科目を除く。 2. 学科自由科目は以下の科目を卒業所要単位に含めることができる。 ・経済学入門Ⅰ ・経済学入門Ⅱ ・国際経済学 ・法学 ・国際法
研究指導	12単位	3年以上4年未満の在学で卒業する場合は、6単位を学科発展科目に認定する。
計	72単位	

5

○2019年度入学生より、英語の教員免許状の取得を目的として商学科英語専修が設置されました。英語専修の卒業に必要な単位数は、履修の手引きで確認しておくようにしてください。

進級に必要な単位 (履修の手引き91頁)

- 2年次から3年次への進級要件
- 2年次終了時まで、卒業所要単位から**46単位**修得すること。

※履修規則 第7条の2

※学 則 第25条第2項

6

進級に必要な単位

次に、進級に必要な単位について説明します。

- 本学では、一定の単位修得を2年から3年への進級要件としています。
- 2年次から3年次に進級するためには、46単位以上修得しなければなりません。
- この46単位は、卒業所要単位に算入される単位に限られています。
- この単位数を修得できない場合には、3年次に進級できません。したがって卒業が1年延びることになります。
- 多くの学生は、2年次までに80単位近くの単位を修得します。46単位は必要最低単位ですので、ギリギリではなく、できるだけ多く修得して、進級できるように履修計画を立ててください。